

大阪成蹊大学 データサイエンスチャレンジ 2026 実施概要

目的	データサイエンスは、現代社会における幅広い課題解決の基盤として、その重要性がますます高まっている。大阪成蹊大学データサイエンス学部では、こうした社会的要請に応え、高等学校と大学が連携したデータサイエンス教育の一層の充実を推進するために、「データサイエンスチャレンジ 2026～データで未来を変える探究プロジェクト～」を実施する。
対象	高等学校に在籍する生徒または高等専門学校に在籍（３年生まで）する生徒
主催・事務局	大阪成蹊大学 データサイエンス学部 後援：大阪府教育委員会、兵庫県教育委員会
開催 スケジュール	データサイエンスセミナー 第１回：2026 年 11 月 28 日（土）13 時～ 第２回：2026 年 12 月 20 日（日）13 時～ データサイエンスコンテスト 2027 年 2 月 7 日（日）11 時～
応募期間	データサイエンスセミナー：2026 年 9 月 1 日（火）～各開催日の１週間前 データサイエンスコンテスト：2026 年 9 月 1 日（火）～2027 年 1 月 17 日（日）
コンテスト 発表内容	発表テーマ例 ■総合的な探究の時間、課題研究で取り組んでいるテーマや部活動で取り組んでいるテーマに関して、データを集めて分析し、内容をさらに深めて研究する。 ■自分の好きなことや興味・関心のあることについて、データを集めて分析し、新たに気づいたことを発表する。 具体的には、 ・SNS 上でスイーツについての投稿と天候との関係を調べ、天候に合わせたお勧めの商品を考える ・観光地の人流データをもとに、混雑を避けられるお勧めの観光ルートを考える ・学校の部活動で収集したスポーツデータを分析して、クラブ強化の方策を考える など

審査内容 審査基準	下記を総合的に判断し、賞を確定する。 1. 問いの明確さ 何を調べたいのかがはっきりしているか。 2. 仮説の構築 「こうなるはず」という考えに筋道があり、理由や根拠がはっきりしているか。 3. データの収集と分析 データの集め方・調べ方が正しく、工夫があるか。 4. 結果と考察 調べた結果をきちんと整理し、仮説と比べてどうだったかを考えられているか。 5. 提案と発表 調べた結果を生かした新しい提案があるか。発表がわかりやすく工夫されているか。
応募資格	高等学校に在籍する生徒または高等専門学校に在籍（3年生まで）する生徒で、個人またはチーム（5名程度）
受賞項目	○データサイエンスチャレンジ 2026 グランプリ : トロフィー・賞状／副賞 3万円 準グランプリ : トロフィー・賞状／副賞 2万円 優秀賞 : トロフィー・賞状／副賞 1万円
セミナー開催 スケジュール	データサイエンスコンテストにおいて、応募者がより良い発表ができることを目的とし、基礎からの学びの機会や大学教員からの個別アドバイスを提供する場としてセミナーを開催する。セミナーへの参加は任意とする。 第1回 : 2026年11月28日（土）13時～ 第2回 : 2026年12月20日（日）13時～
審査委員	○データサイエンスチャレンジ 2026 <実行委員長> 大阪成蹊大学 学長 中村 佳正 <委員> データサイエンス学部教員、外部委員